

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式 2

| | | | | | |
|------------------------------|--|-----------------------|--------------------------------|--------|-------------|
| 系統名 | 柚野線 | | | 事業者名 | 富士急静岡バス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 富士宮駅 | 柚野支所 | 上柚野 | | |
| 系統キロ程 (km) | 10.4 | 輸送量 (人/日) | 15.3 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 3.4 | 運行回数 (回/日) | 4.5 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 柚野小・中学校 | | | |
| | 病院 | | | | |
| | 商業施設 | | | | |
| | その他 | 農協柚野支店、JR富士宮駅、JR西富士宮駅 | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 59.3 | | 乗車人員 (人) | 19,299 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点 2 バス停 2 | 名称 | 拠点：JR西富士宮・富士宮駅 バス停：十字街、神田通り | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 90.5 | | | | |
| 増収策 | 1) 学校への乗合バス乗り方教室を行い、バス利用促進と校外学習での増発バス利用促進を図る。 2) 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行し普段バスや電車の使用が無い方も公共交通を利用していただき、バス利用促進を図る。 3) 平日専用学生「ウィークデイ定期券」について、更にPRを行い、学生のバス利用促進を図る。 4) 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し（富士駅への直通ダイヤの設定等）を行い、バス利用者の利便向上を図る。 5) 当社主要路線及び不採算路線沿線上バス停留所付近を対象とした戸別訪問を実施し利用者へのアンケート及び利用していない方への利用促進（時刻表等配布）を行う。 | | | | |
| 費用削減策 | 1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト削減を行い、稼働経費の低減化を促進する。 2) エコドライブの推進（アイドリングストップ運動等）により、軽油燃料の使用量削減と環境保全に努める。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減を図る。 | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p> | | | | |

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式 2

| | | | | | |
|------------------------------|--|---------------------|---|--------|-------------|
| 系統名 | 興津線 | | | 事業者名 | 富士急静岡バス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 富士駅 | 蒲原病院 | 寺尾橋 | | |
| 系統キロ程 (km) | 15.3 | 輸送量 (人/日) | 15.1 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 2.7 | 運行回数 (回/日) | 5.6 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 富士川第一小学校、富士川中学校 | | | |
| | 病院 | 蒲原病院 | | | |
| | 商業施設 | | | | |
| | その他 | JR富士川駅、蒲原駅、新蒲原駅、由比駅 | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 45.8 | | 乗車人員 (人) | 35,562 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点 5 バス停 2 | 名称 | 拠点：JR富士駅・富士川駅・蒲原駅・新蒲原駅・由比駅 バス停：富士銀座、橋下 | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 19.0 | | | | |
| 増収策 | 1) 学校への乗合バス乗り方教室を行い、バス利用促進と校外学習での増発バス利用促進を図る。 2) 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行し普段バスや電車の使用が無い方も公共交通を利用していただき、バス利用促進を図る。 3) 平日専用学生「ウィークデイ定期券」について、更にPRを行い、学生のバス利用促進を図る。 4) 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し（富士駅への直通ダイヤの設定等）を行い、バス利用者の利便向上を図る。 5) 当社主要路線及び不採算路線沿線上バス停留所付近を対象とした戸別訪問を実施し利用者へのアンケート及び利用していない方への利用促進（時刻表等配布）を行う。 | | | | |
| 費用削減策 | 1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト削減を行い、稼働経費の低減化を促進する。 2) エコドライブの推進（アイドリングストップ運動等）により、軽油燃料の使用量削減と環境保全に努める。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減を図る。 | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50 150 輸送量(人/日) 150 15.1</p> <p>平均乗車密度(人/便) 10 2.7</p> <p>運行回数(回/日) 30 5.6</p> <p>収支率(%) 100 45.8</p> <p>乗車人員(人) 300,000 35,562</p> <p>広域利用状況(%) 100 19.0</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20</p> | | | | |

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|--------|-------------|
| 系統名 | 曾比奈線 | | | 事業者名 | 富士急静岡バス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 西富士宮駅 | 赤坂 | 曾比奈 | | |
| 系統キロ程 (km) | 11.5 | 輸送量 (人/日) | 15.6 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 3.2 | 運行回数 (回/日) | 4.9 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 大淵第一小学校、大淵中学校、富士宮東高校、富士宮第一中学校、富士宮東小学校、富士特別支援学校 | | | |
| | 病院 | 新富士病院、富士脳研病院 | | | |
| | 商業施設 | | | | |
| | その他 | JR西富士宮駅・富士宮駅 | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 58.2 | | 乗車人員 (人) | 33,310 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点2 バス停4 | 名称 | 拠点：JR西富士宮・富士宮駅 バス停：十字街、神田通り、駅東入口、中野 | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 25.8 | | | | |
| 増収策 | 1) 学校への乗合バス乗り方教室を行い、バス利用促進と校外学習での増発バス利用促進を図る。 2) 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行し普段バスや電車の使用が無い方も公共交通を利用していただき、バス利用促進を図る。 3) 平日専用学生「ウィークデイ定期券」について、更にPRを行い、学生のバス利用促進を図る。 4) 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し（富士駅への直通ダイヤの設定等）を行い、バス利用者の利便向上を図る。 5) 当社主要路線及び不採算路線沿線上バス停留所付近を対象とした戸別訪問を実施し利用者へのアンケート及び利用していない方への利用促進（時刻表等配布）を行う。 | | | | |
| 費用削減策 | 1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト削減を行い、稼働経費の低減化を促進する。 2) エコドライブの推進（アイドリングストップ運動等）により、軽油燃料の使用量削減と環境保全に努める。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減を図る。 | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | | | | | |

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式 2

| | | | | | |
|------------------------------|--|------------------------------|--|---------|-------------|
| 系統名 | 船津線 | | | 事業者名 | 富士急静岡バス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 富士駅 | 吉原中央駅 市立病院 | 沼津駅 | | |
| 系統キロ程 (km) | 25.7 | 輸送量 (人/日) | 29.2 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 3.6 | 運行回数 (回/日) | 7.5 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 富士第一小学校、須津小・中学校、富士市立高校、金岡小学校 | | | |
| | 病院 | 富士中央病院、沼津市立病院 | | | |
| | 商業施設 | | | | |
| | その他 | 富士市役所、JR富士駅・沼津駅、吉原中央駅 | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 53.6 | | 乗車人員 (人) | 125,060 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点 3 バス停 5 | 名称 | 拠点：JR富士駅・沼津駅、吉原中央駅 バス停：富士銀座、吉原四丁目、吉原本町、和田町、沼津信用金庫愛鷹支店 | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 6.9 | | | | |
| 増収策 | 1) 学校への乗合バス乗り方教室を行い、バス利用促進と校外学習での増発バス利用促進を図る。 2) 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行し普段バスや電車の使用が無い方も公共交通を利用していただき、バス利用促進を図る。 3) 平日専用学生「ウィークデイ定期券」について、更にPRを行い、学生のバス利用促進を図る。 4) 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し（富士駅への直通ダイヤの設定等）を行い、バス利用者の利便向上を図る。 5) 当社主要路線及び不採算路線沿線上バス停留所付近を対象とした戸別訪問を実施し利用者へのアンケート及び利用していない方への利用促進（時刻表等配布）を行う。 | | | | |
| 費用削減策 | 1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト削減を行い、稼働経費の低減化を促進する。 2) エコドライブの推進（アイドリングストップ運動等）により、軽油燃料の使用量削減と環境保全に努める。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減を図る。 | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p> | | | | |

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

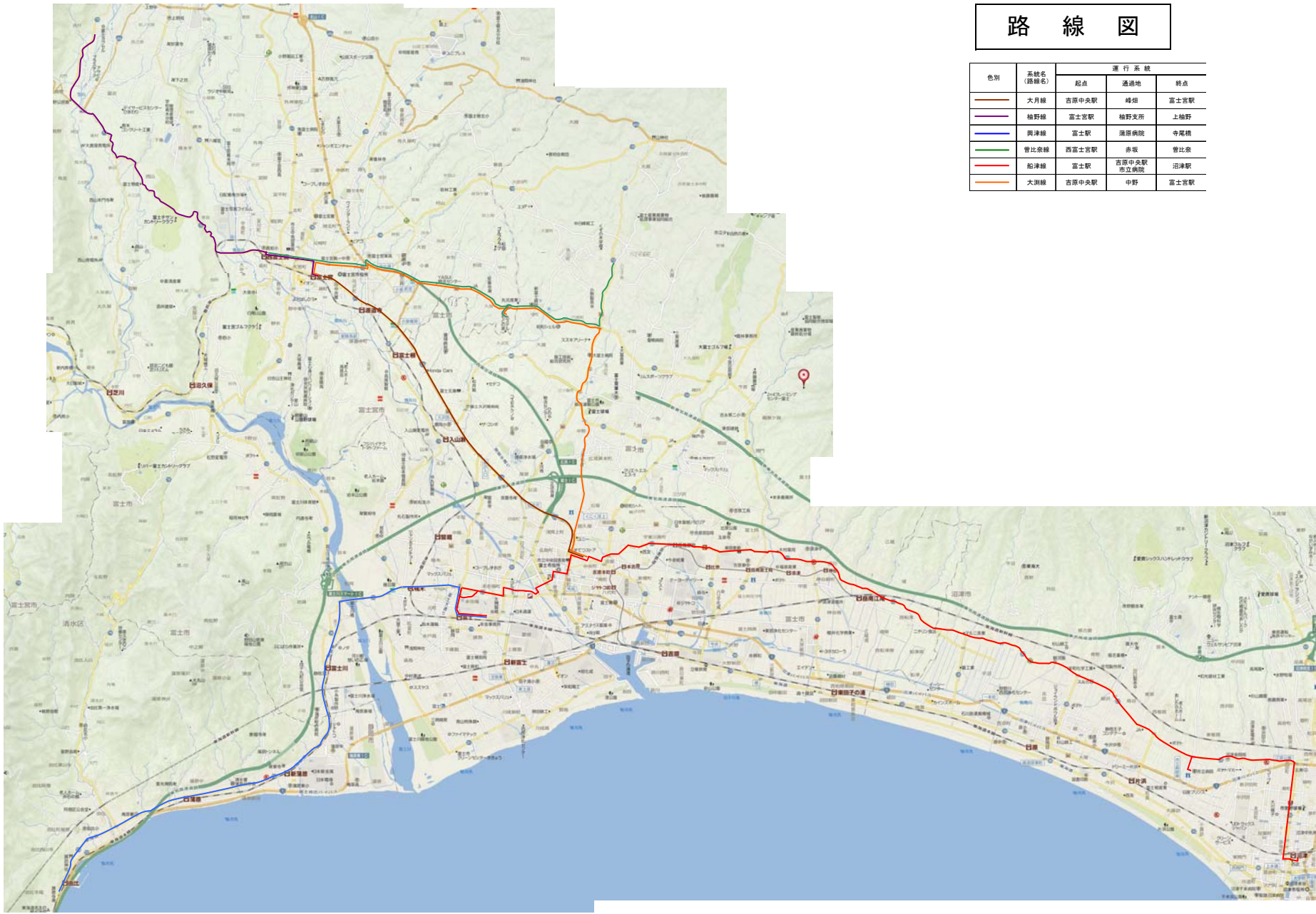
様式 2

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|--------|-------------|
| 系統名 | 大淵線 | | | 事業者名 | 富士急静岡バス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 吉原中央駅 | 中野 | 富士宮駅 | | |
| 系統キロ程 (km) | 14.8 | 輸送量 (人/日) | 15.6 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 5.2 | 運行回数 (回/日) | 3.0 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 大淵第一小学校、大淵中学校、富士宮東高校、富士宮第一中学校、富士宮東小学校、富士特別支援学校 | | | |
| | 病院 | 新富士病院、大富士病院、富士脳研病院 | | | |
| | 商業施設 | | | | |
| | その他 | J R 富士宮駅・吉原中央駅 | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 84.9 | | 乗車人員 (人) | 34,374 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点 2 バス停 4 | 名称 | 拠点：JR富士宮駅、吉原中央駅 バス停：昭和通り、広見団地入口、中野、穴原入口 | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 36.3 | | | | |
| 増収策 | 1) 学校への乗合バス乗り方教室を行い、バス利用促進と校外学習での増発バス利用促進を図る。 2) 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行し普段バスや電車の使用が無い方も公共交通を利用していただき、バス利用促進を図る。 3) 平日専用学生「ウィークデイ定期券」について、更にPRを行い、学生のバス利用促進を図る。 4) 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し（富士駅への直通ダイヤの設定等）を行い、バス利用者の利便向上を図る。 5) 当社主要路線及び不採算路線沿線上バス停留所付近を対象とした戸別訪問を実施し利用者へのアンケート及び利用していない方への利用促進（時刻表等配布）を行う。 | | | | |
| 費用削減策 | 1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト削減を行い、稼働経費の低減化を促進する。 2) エコドライブの推進（アイドリングストップ運動等）により、軽油燃料の使用量削減と環境保全に努める。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減を図る。 | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p> | | | | |

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式 2

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--------------------------------------|---------|-------------|
| 系統名 | 大月線 | | | 事業者名 | 富士急静岡バス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 吉原中央駅 | 峰畑 | 富士宮駅 | | |
| 系統キロ程 (km) | 9.5 | 輸送量 (人/日) | 92.4 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 4.0 | 運行回数 (回/日) | 23.1 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 富岳館高校、富士宮東高校、鷹岡中学校、鷹岡小学校、伝法小学校、吉原第一中学校 | | | |
| | 病院 | 富士宮市立病院 | | | |
| | 商業施設 | イオン富士宮店、アピタ富士吉原店 | | | |
| | その他 | 富士宮市役所 | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 77.8 | | 乗車人員 (人) | 171,687 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点 3 バス停 2 | 名称 | 拠点：JR富士宮駅、源道寺駅、吉原中央駅 バス停：一乗寺、昭和通り | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 52.3 | | | | |
| 増収策 | 1) 学校への乗合バス乗り方教室を行い、バス利用促進と校外学習での増発バス利用促進を図る。 2) 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行し普段バスや電車の使用が無い方も公共交通を利用していただき、バス利用促進を図る。 3) 平日専用学生「ウィークデイ定期券」について、更にPRを行い、学生のバス利用促進を図る。 4) 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し（富士駅への直通ダイヤの設定等）を行い、バス利用者の利便向上を図る。 5) 当社主要路線及び不採算路線沿線上バス停留所付近を対象とした戸別訪問を実施し利用者へのアンケート及び利用していない方への利用促進（時刻表等配布）を行う。 | | | | |
| 費用削減策 | 1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト削減を行い、稼働経費の低減化を促進する。 2) エコドライブの推進（アイドリングストップ運動等）により、軽油燃料の使用量削減と環境保全に努める。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減を図る。 | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p> | | | | |



路線図

| 色別 | 系統名 (路線名) | 運行系統 | | |
|----|--------------|-------|---------------|------|
| | | 起点 | 通過地 | 終点 |
| — | 大月線 | 吉原中央駅 | 峰畑 | 富士宮駅 |
| — | 袖野線 | 富士宮駅 | 袖野支所 | 上袖野 |
| — | 興津線 | 富士駅 | 清原病院 | 寺尾橋 |
| — | 曾比奈線 | 西富士宮駅 | 赤坂 | 曾比奈 |
| — | 船津線 | 富士駅 | 吉原中央駅 市立病院 | 沼津駅 |
| — | 大淵線 | 吉原中央駅 | 中野 | 富士宮駅 |